

# 平成 24 年度 広島大学留学生の学習と生活に対する支援調査結果概要報告

国際センター国際教育部門 准教授 中矢礼美

## はじめに

本報告は、平成 24 年 12 月に実施した本学の留学生対象のアンケート調査「広島大学留学生の学習と生活に対する支援調査」の結果を集約・分析したものである。

広島大学には 1000 人前後の留学生が在籍しており、彼らが直面する生活・修学上の多様な課題を解決すべく、留学生支援ネットワークは 1, 2 ヶ月に 1 度の連絡会議を開催し、また各セメスターに一度は全学の留学生支援担当者会議を開催して、情報共有および支援体制の構築に努めている。そこで議論される内容は多岐にわたり、効果的効率的な留学生支援のためには状況把握が重要であるという共通認識のもと、今年度も留学生に対する支援調査を実施することとなった。

本調査の内容および構成は、留学生支援ネットワークのメンバーによって作成され、調査票は国際センター国際交流グループより全留学生に配布された。

平成 24 年度の留学生支援ネットワークメンバーは以下のとおりである。

中矢 礼美	国際センター国際教育部門 准教授
横山 美栄子	ハラスメント相談室 教授
北仲 千里	ハラスメント相談室 准教授
岡本 百合	保健管理センター 准教授
小島 奈々恵	保健管理センター 研究員
田中 孝憲	キャリアセンター 主査
車地 友理	キャリアセンター
棚田 孝志	国際センター国際交流部門 専門員
甲田 政道	国際センター国際交流部門 主査
小倉 亜紗美	国際センター国際交流部門 研究員

## I. アンケートの調査方法と内容

アンケート調査票は広島大学に在籍する全留学生（1081名、2012年11月現在）を対象とし、所属部局より直接あるいは指導教員を経由して配布した。回答は、学内便にて回収を行い、回収数は497（有効回答数495）であった。回収率は45.9%と2003年以降の調査の中で最も高い比率となった。

アンケート調査紙は日本語と英語を併記した。

アンケートの内容は、5つに分かれており、1) 一般的な質問、2) コミュニケーション言語および学習について、3) 指導教員との関係について、4) 留学生支援について、5) 留学生による生活・修学に対する満足度について、である。

回答は、複数選択式、5点法のリッカートスケール方式など、選択式を採用した。ただし、より具体的な意見を汲み取るために自由記述欄も設けた。

回答者は、質問によって異なっていること、一部の質問に回答していないなどの無効回答などもあるために、質問によって全回答者数に違いがある。

## II. 統計分析の方法について

データはすべて統計的に処理されており、ここに掲載した検定結果は分散分析の結果である。多くの場合を理系と文系の研究科に所属する学生の間での違いとして分析を行っている。なお、ここでは留学生の自己半判断により理系文系を区分しているが、「不明」と回答されているものについては、「その他」に記載された専攻と所属部局から、文学部・文学研究科、教育学部・教育学研究科、法学部・法学研究科、経済学部・社会科学研究科、国際協力研究科、国際センターを文系とし、それ以外の部局については理系とした。

## III. アンケート調査結果の分析

### 1. 一般的な質問

Q1.1 性別（有効回答 495）

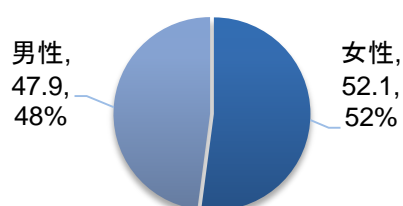


図1.1 性別

Q1.2 年齢（有効回答 444）

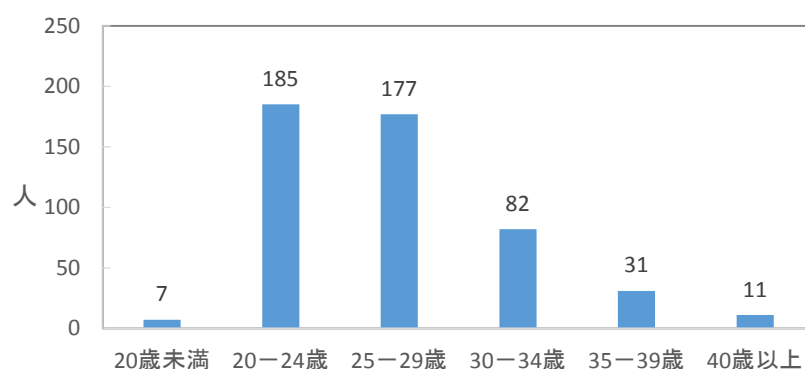


図1.2 年齢

Q1.3 学籍 (有効回答 494)

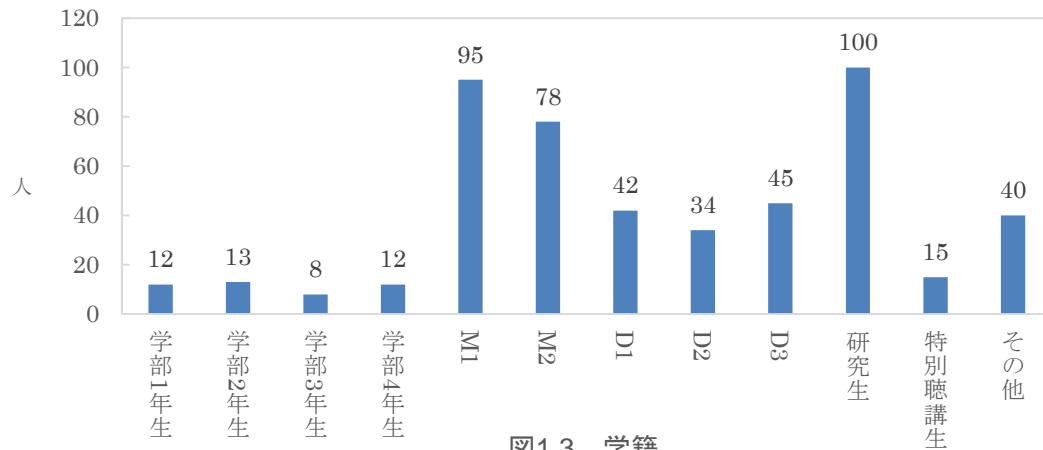


図1.3 学籍

Q1.4 出身国・地域 (有効回答 495)

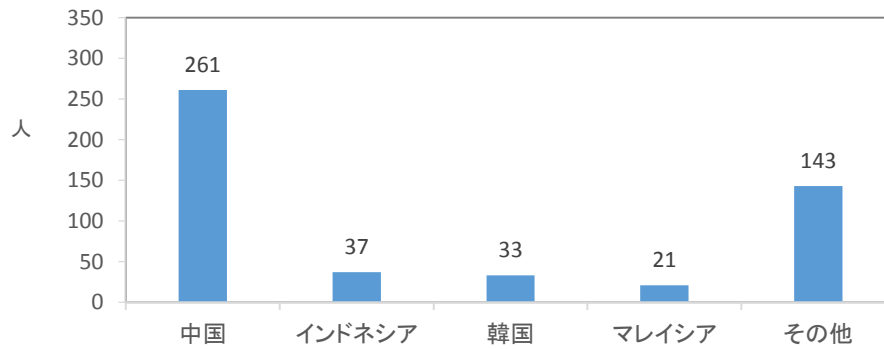


図1.4 出身国・地域

Q1.5 所属 (有効回答 495)

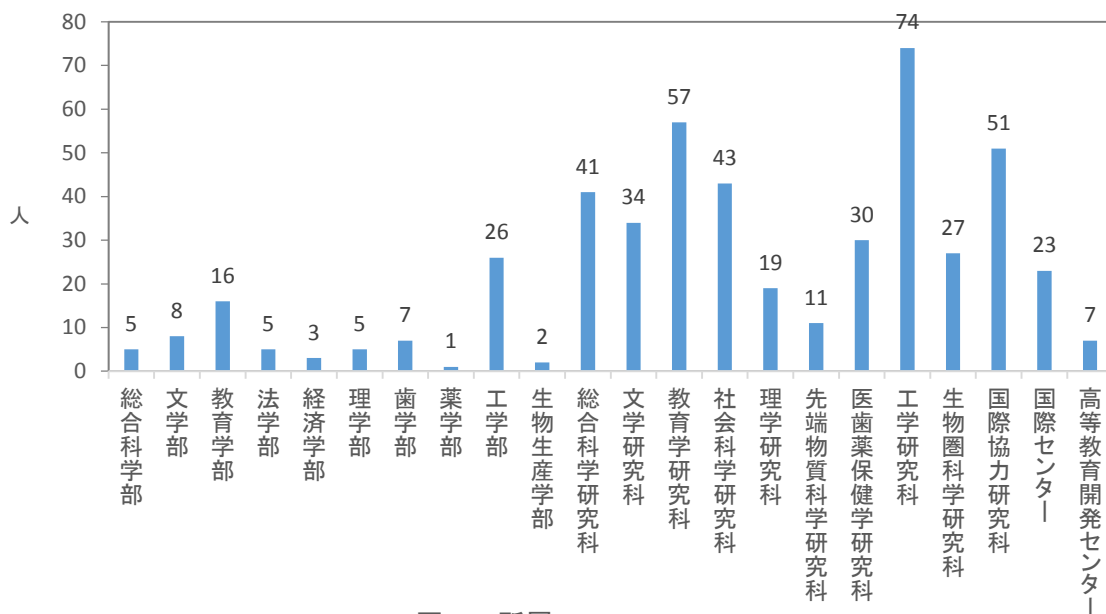


図1.5 所属

Q1.6 私費・国費 (有効回答 487)

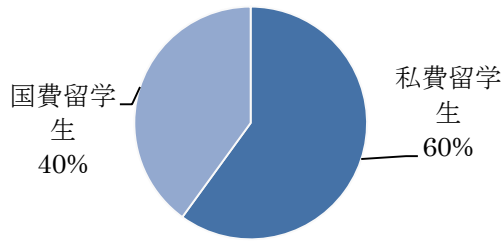


図1.6 国費私費

Q1.7 専門 (有効回答 470)

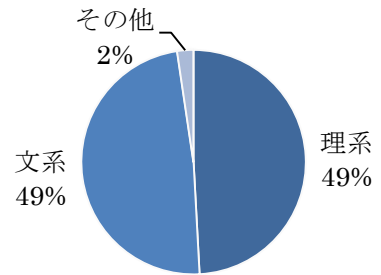


図1.7 専門

Q1.8 広島大学での在籍年数 (有効回答 490)

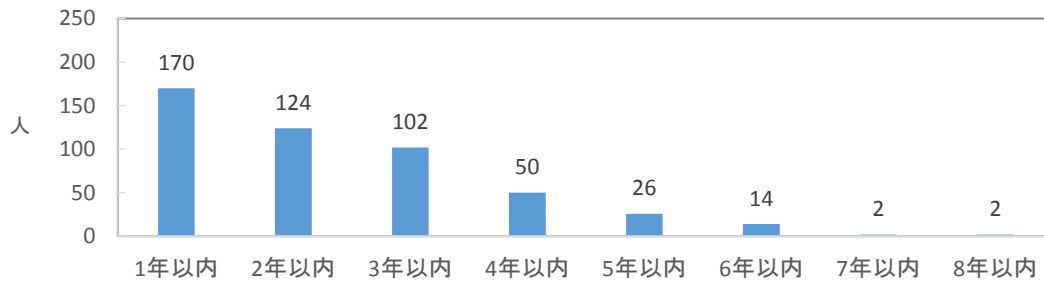


図1.8 在籍年数

## 2. コミュニケーション言語と学習について

Q2.1 あなたの日本語能力はどのくらいですか？

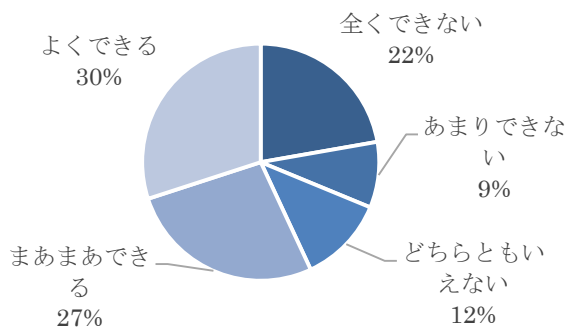


図2.1 教科書を読む(日本語)

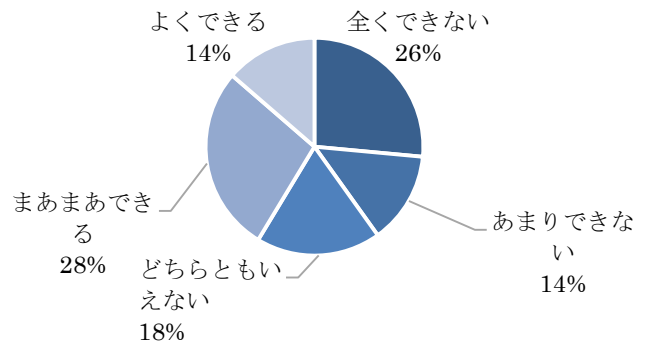


図2.2 論文やレポートを書く(日本語)

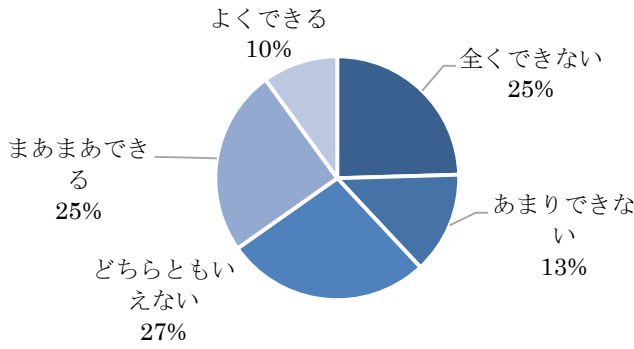


図2.3 専門について議論する(日本語)

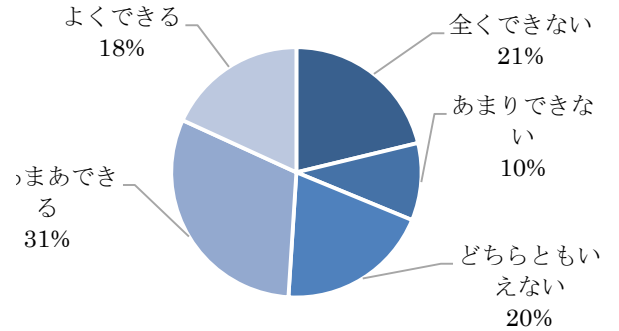


図2.4 講義・授業を理解する(日本語)

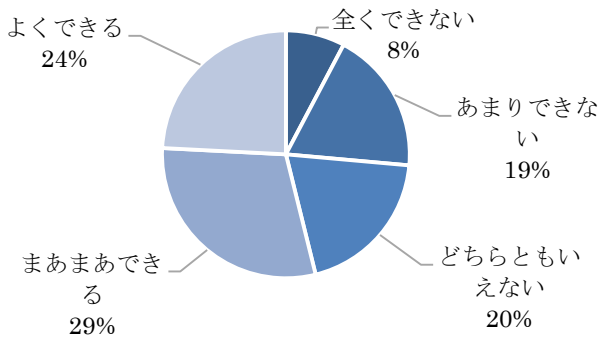


図2.5 日常的な会話(日本語)

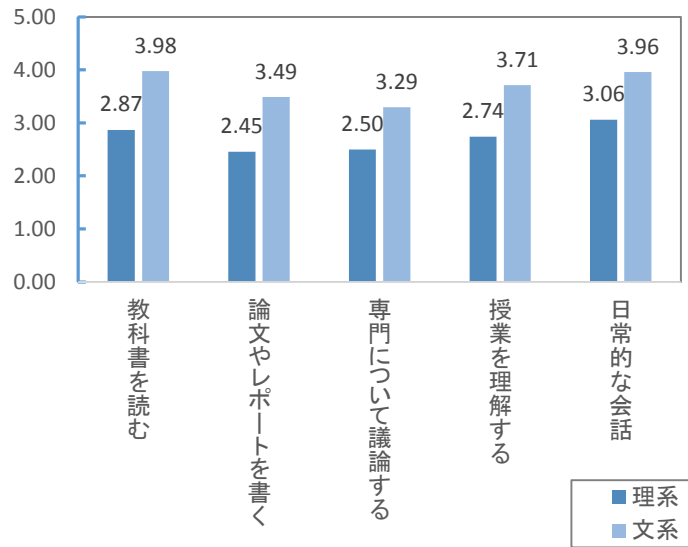


図2.2.1 専門別日本語能力

図 2.1~2.5 の分散分析の結果、理系・文系による有意な差が見られた。理系の学生に比べて文科系の学生がすべての側面において高い日本語能力を持つという結果が得られた。

独立サンプルの検定										
		の検定		2 つの母平均の差の検定						
		F 値	有意確率	t 値	自由度	有意確率 (両側)	平均値の差	差の標準誤差	差の 95% 信頼区間	
									下限	上限
教科書を読む (日本語)	等分散を仮定する。	28.440	.000	-8.501	453	.000	-1.110	.131	-1.367	-.854
	等分散を仮定しない。			-8.498	441.340	.000	-1.110	.131	-1.367	-.853
論文やレポートを書く (日本語)	等分散を仮定する。	9.552	.002	-8.466	453	.000	-1.033	.122	-1.273	-.793
	等分散を仮定しない。			-8.465	448.786	.000	-1.033	.122	-1.273	-.793
専門について議論する (日本語)	等分散を仮定する。	5.022	.026	-6.871	451	.000	-.796	.116	-1.024	-.568
	等分散を仮定しない。			-6.869	448.748	.000	-.796	.116	-1.024	-.568
授業を理解する (日本語)	等分散を仮定する。	9.815	.002	-8.001	452	.000	-.972	.121	-1.210	-.733
	等分散を仮定しない。			-7.998	447.404	.000	-.972	.121	-1.210	-.733
日常的な会話 (日本語)	等分散を仮定する。	7.760	.006	-8.338	454	.000	-.899	.108	-1.111	-.687
	等分散を仮定しない。			-8.338	449.458	.000	-.899	.108	-1.111	-.687

## Q2.2 あなたの英語能力はどのくらいですか？

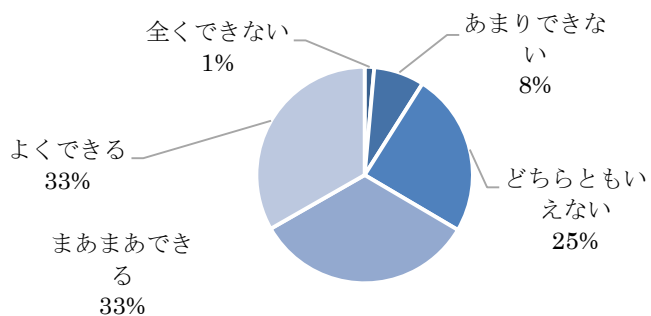


図2.6 教科書を読む(英語)

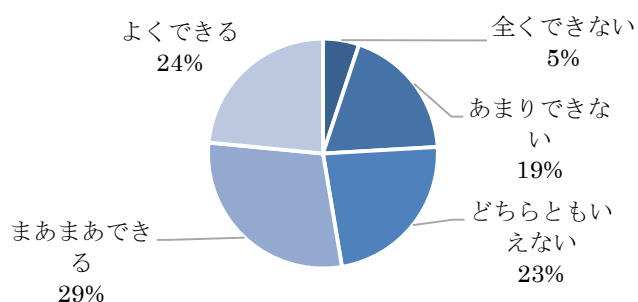


図2.7 論文やレポートを書く(英語)

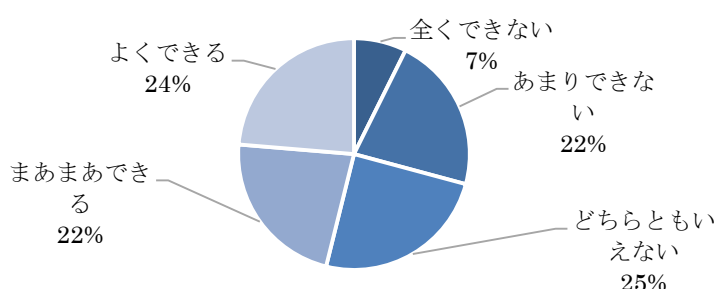


図2.8 専門について議論する(英語)

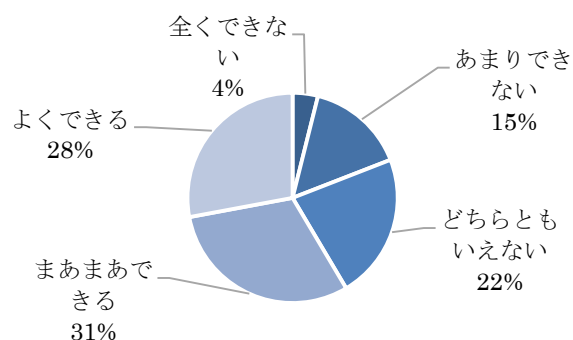


図2.9 授業を理解する(英語)

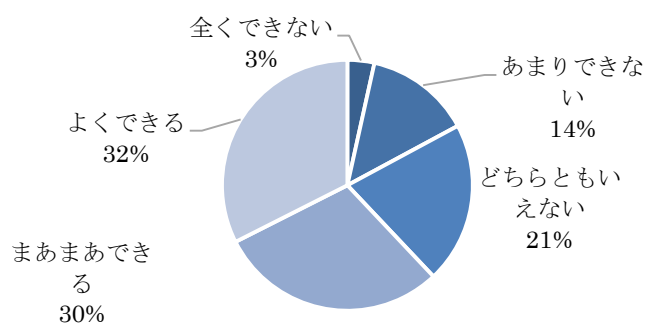


図2.10 日常的な会話(英語)

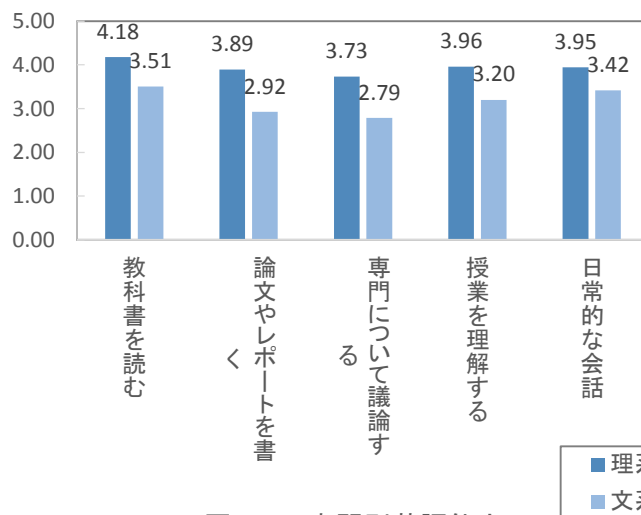


図2.2.2 専門別英語能力

図 2.6～2.10 の分散分析の結果、下記のとおり、理系・文系による有意な差が見られた。文系の学生に比べて理系の学生がすべての側面において高い英語能力を持つという結果が得られた。

独立サンプルの検定										
		の検定		2つの母平均の差の検定						
		F 値	有意確率	t 値	自由度	有意確率 (両側)	平均値の差	差の標準誤 差	差の 95% 信頼区間	
									下限	上限
教科書を読む (英語)	等分散を仮定する。	4.207	.041	7.489	452	.000	.669	.089	.494	.845
	等分散を仮定しない。			7.480	445.239					
論文やレポートを書く (英語)	等分散を仮定する。	2.031	.155	9.462	452	.000	.967	.102	.766	1.168
	等分散を仮定しない。			9.453	447.677					
専門について議論する (英語)	等分散を仮定する。	.012	.914		452	.000	.949	.110	.734	1.165
	等分散を仮定しない。			8.654	450.830					
授業を理解する (英語)	等分散を仮定する。	6.941	.009	7.310	451	.000	.759	.104	.555	.963
	等分散を仮定しない。			7.298	441.977					
日常的な会話 (英語)	等分散を仮定する。	2.489	.115	4.961	452	.000	.527	.106	.318	.735
	等分散を仮定しない。			4.956	448.147					

Q2.3 あなたは、論文の読み書きでおもにどの言語を使いますか？ (数名が複数回答)

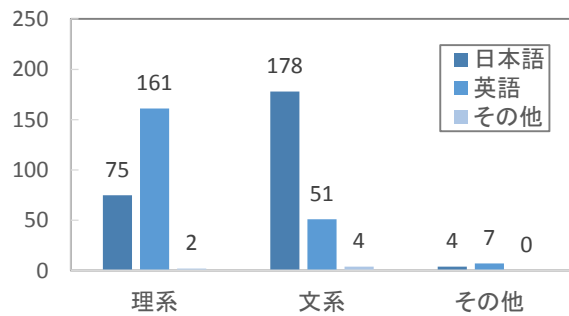


図2.3 論文の読み書き

Q2.4 あなたは、指導教員との会話でおもにどの言語を使いますか？ (数名が複数回答)

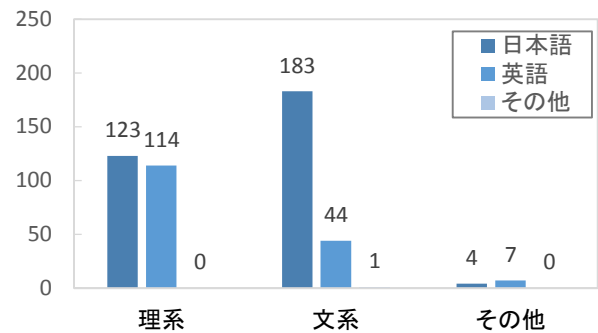


図2.4 指導教員との会話

Q2.5 あなたは、研究室の人たちとの会話でおもにどの言語を使いますか？ (数名が複数回答)

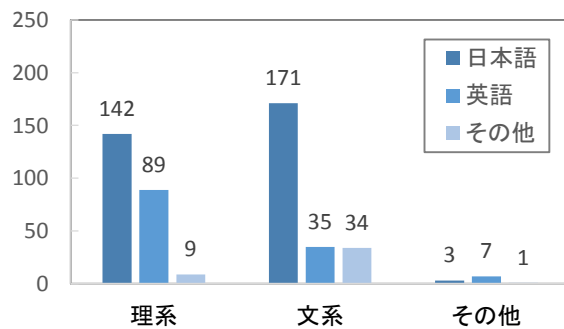


図2.5 研究室の人との会話

図 2.3～2.5 に示されたように、理系の学生の方は文系の学生よりも論文の読み書きは圧倒的に英語を使っているが、指導教員との会話では日本語を使う割合が英語と同じ程度である。また、研究室の人との会話ではさらに日本語を使う人が多いことが分かる。理系の学生は、英語で研究を進めるものの会話においては日本語が使われる状況にあることから、日本語学習の必要性が予想される。「研究室の人との会話」において「その他」の言語と回答しているケースが多いのは、同国出身者との会話によると考えられる。

Q2.6 あなたが広島大学で今まで参加した国際センターの日本語コースを教えてください。

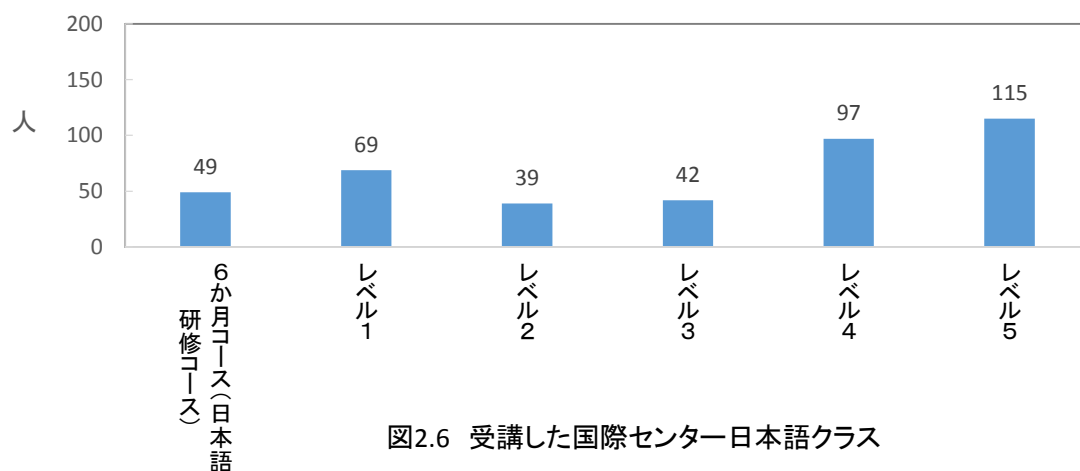


図2.6 受講した国際センター日本語クラス

Q2.7 あなたの日本語の勉強についてどの意見があてはまりますか？（複数回答）

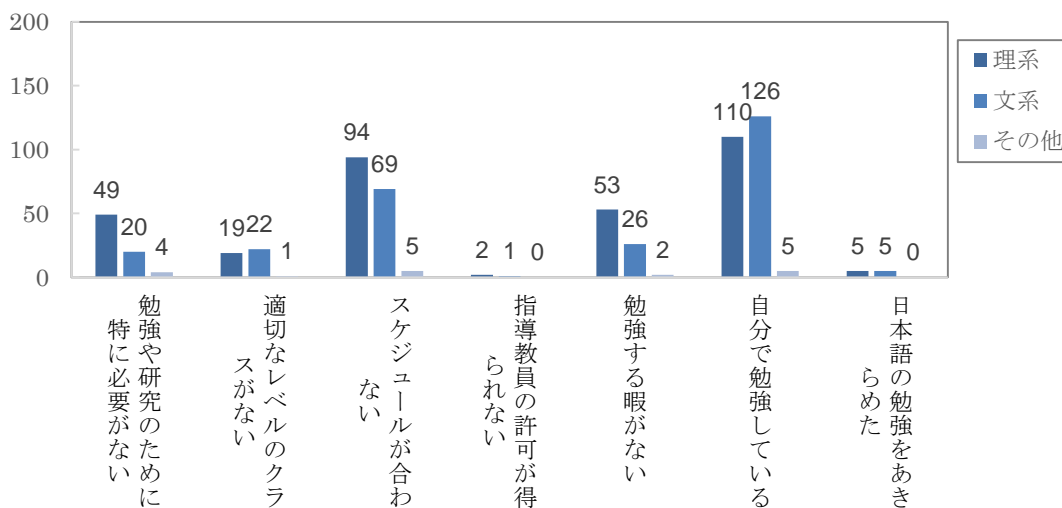


図2.7 日本語学習

図 2.7 より、理系の学生は勉強や研究に特に必要としない学生は 49 名。理系・文系共に、主に「スケジュールが合わない（理系 94 名、文系 69 名）」という理由によって、「自分で勉強している（理系 110 人、文系 126 人）」留学生が多い。「その他」の理由をあげる学生は 66 人おり、その多くが「大学院試験のために後半の日本語授業を受講できないから」をあげていた。



### 3. あなたと指導教員との関係について

Q3.1 あなたは、指導教員のことをどのようにして知りましたか。

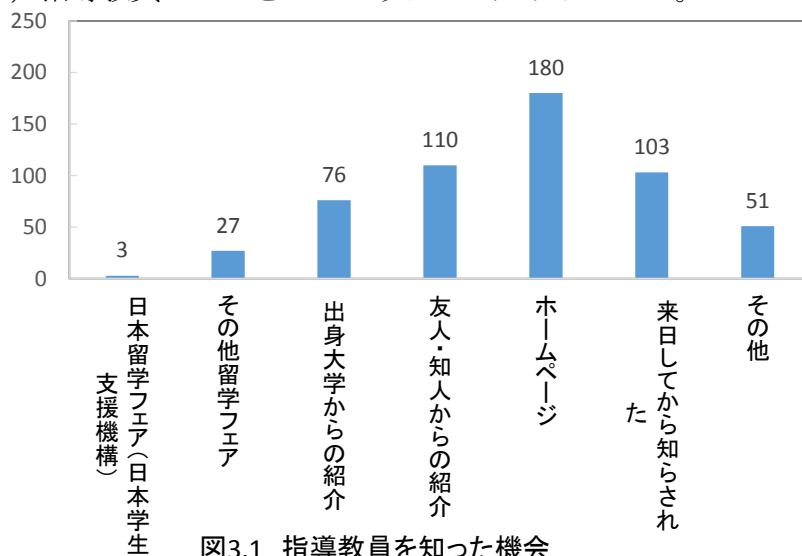


図3.1 指導教員を知った機会

Q3.2 あなたは来日前に指導教員とどのような相談をしましたか？（複数回答可）

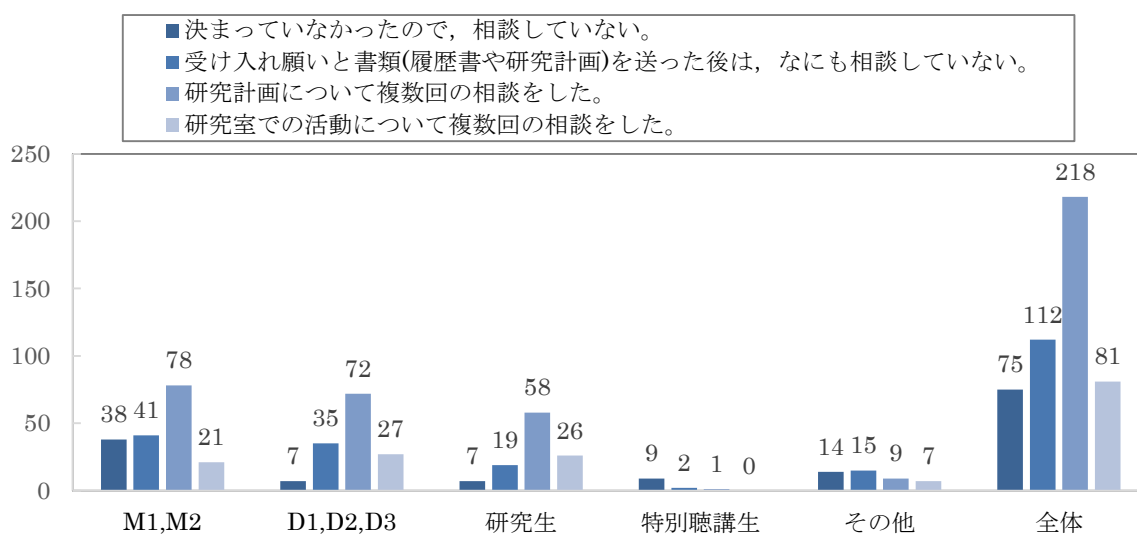


図3.2 来日前の相談

図 3.2 では、指導教員と来日前に相談をする必要がないと考えられる学部生の回答は除いている。「決まっていなかったもので、相談していない」という回答が全体で 75 名も存在し、「受け入れ願いと書類を送った後は、何も相談していない」という回答も 112 名と非常に多い。研究室および指導教員とのミスマッチは、留学生にとって最も大きな問題であり、予防のためには事前の相談が不可欠である。受け入れ願いと研究計画書などの提出を受け入れられた時点で留学生は、指導教員が全面的に自分の研究計画を受け入れてくれていると思う一方で、指導教員側は、「来てからの話し」と考えていることもあり、相互不理解が入学時から始まっている可能性が高い。受け入れ前の複数回の相談（確認）を実施すべきである。

### Q3.3 指導教員との関係において、次のうちどれがあなたにあてはまりますか？（複数回答）

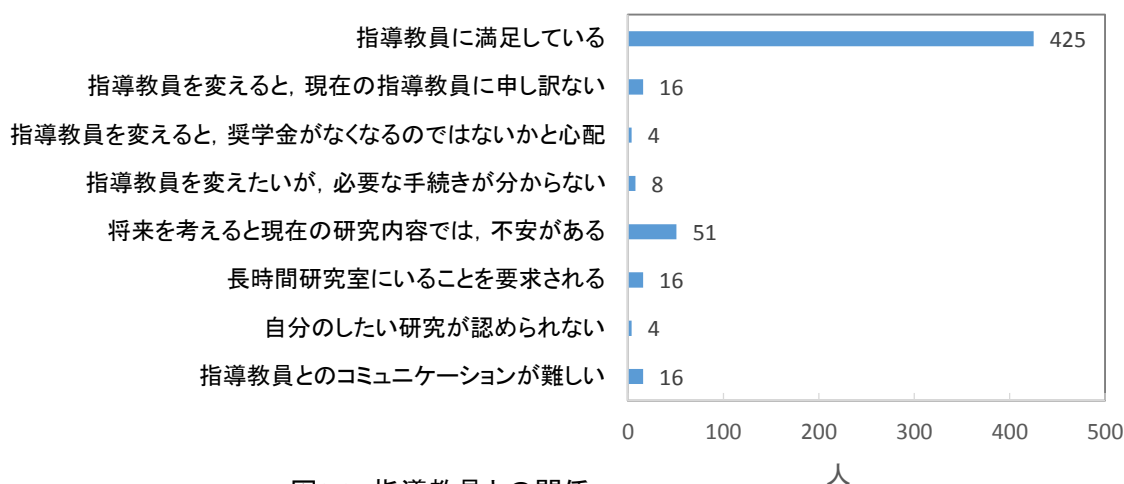


図3.3 指導教員との関係

概ね指導教員に満足しているようであるが、「将来を考えると現在の研究内容では、不安がある」という回答者が 51 人と多い。その他の問題については、自由記述で述べられているように、深刻な問題である場合もあり、各相談窓口での対応が求められる。

## 4. 学生支援について

### 4.1 学生生活の中で困っていることがありますか。（複数回答可）

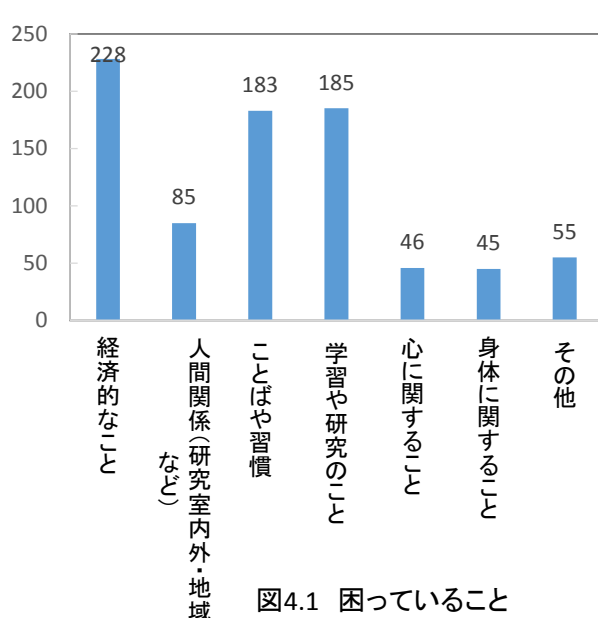


図4.1 困っていること

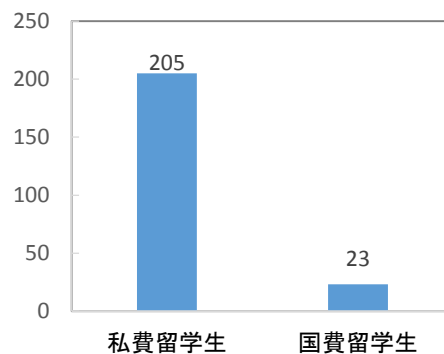


図4.1.1 私費国費別 困っていること:「経済的なこと」

「経済的な悩み」が 228 人と非常に多く、ついで「学習や研究のこと」「ことばや習慣」の悩みが 185 人、183 人と非常に多い。困っていることについて、有意さがあったのは、図 4.1.1 に示すように、私費国費別の「経済的なこと」であった。

Q4.2 困ったことがあるときには、おもに誰に相談しますか。(複数回答)

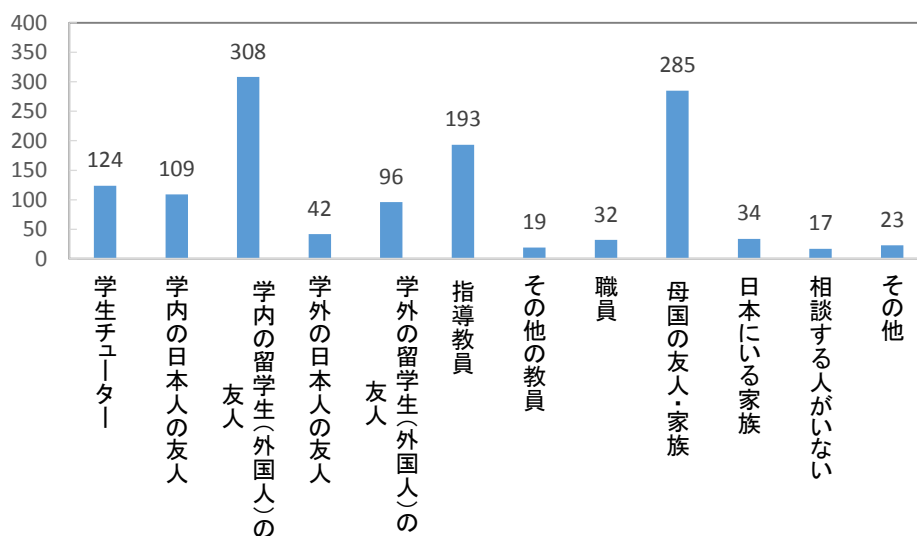


図4.2 相談する相手

悩みの相談相手は学内の留学生および母国の友人・家族が非常に多い。ついで指導教員も193人と多い。

Q4.3 学生生活支援のための次の相談窓口があることを知っていますか？相談したことがありますか？

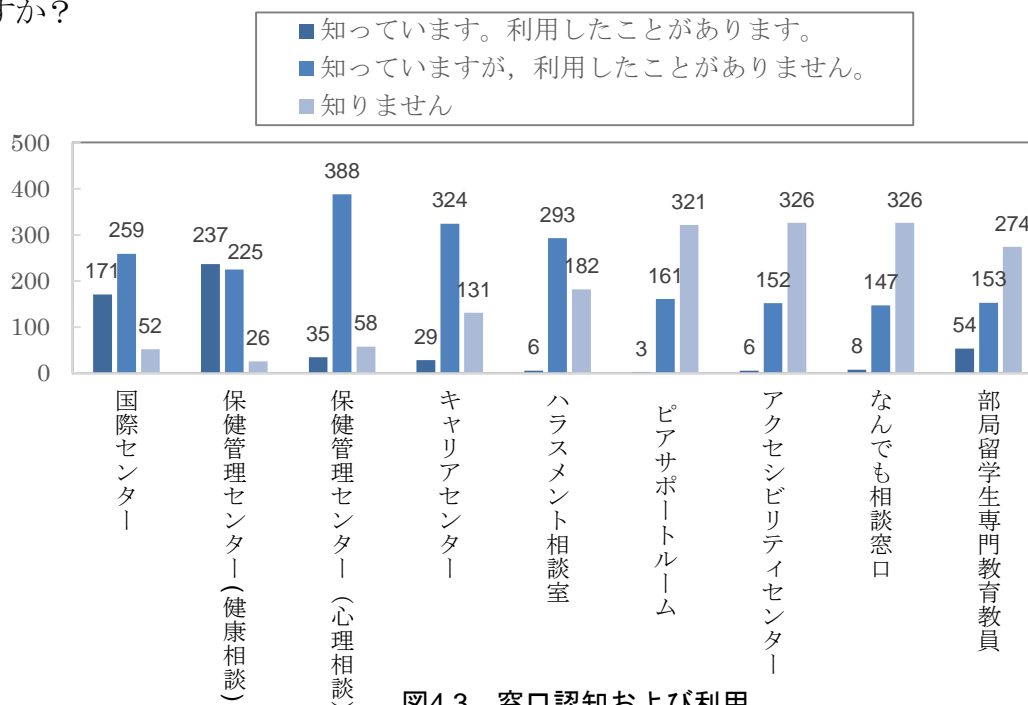


図4.3 窓口認知および利用

ピアサポートルーム、アクセシビリティセンター、なんでも相談窓口の認知度は非常に低い。部局留学生専門教育教員についても、認知度が低い、配置されていない部局があることも影響していると考えられる。

Q4.4 下記の窓口を利用したことがある方にお尋ねします。下記の窓口での支援に満足されましたか？

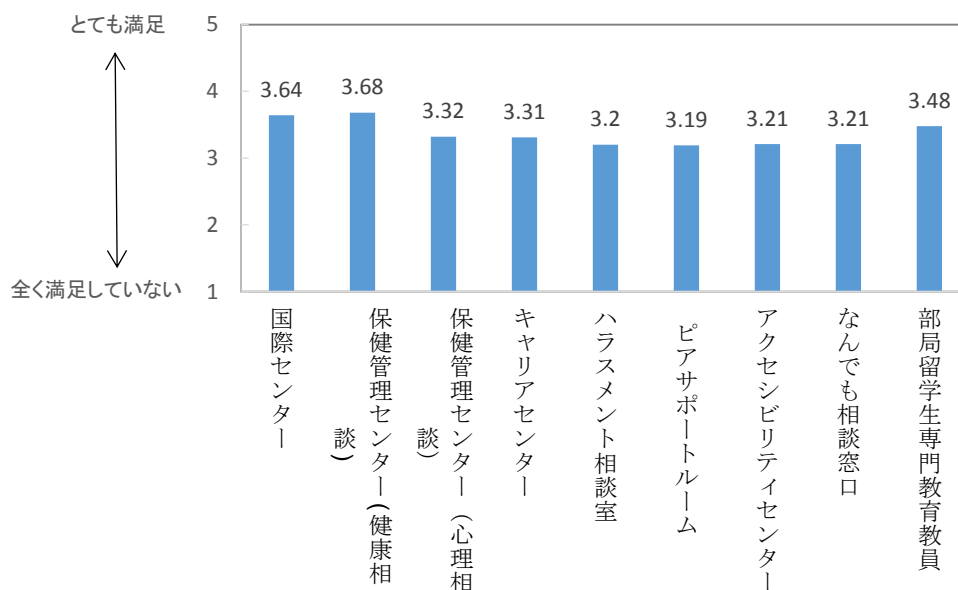


図4.4 窓口の満足度

Q4.5 悩みごとがあったとき、カウンセリングを受けようと思いますか。(有効回答者数 490 名)

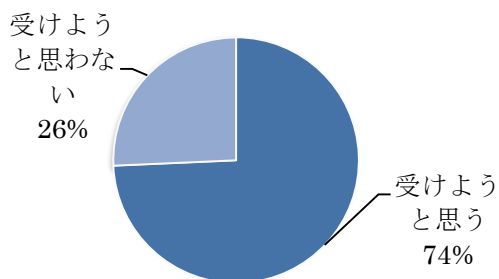


図4.5 カウンセリングを受けようと思うか

Q4.6 「2. 受けようと思わない」と回答した理由(自由記述回答)

概ね、下記のような理由をあげていた。

- 友人に相談する。
- 個人的な話はしたくない。
- 面倒を掛けたくない。
- 相談に行く時間がとれない。
- 言語が通じない不安がある。

Q4.7 学生定期健康診断が、毎年4月のみに行われていることをしていますか。(有効回答者 492 名)

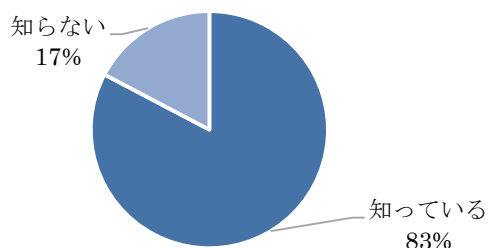


図4.7 健康診断は4月のみ

Q4.8 学年度内(4月～3月)に健康診断を受けていなければ、健康診断証明書が発行されないことを知っていますか。(有効回答者 491 名)

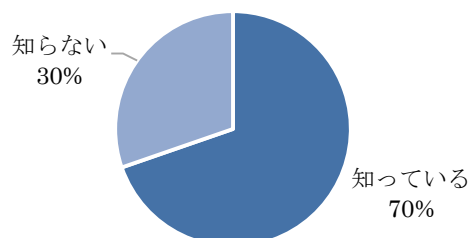


図4.8 健康診断証明書の発行

Q4.9 あなたは日本の企業への就職を希望していますか。(回答者 485 名)

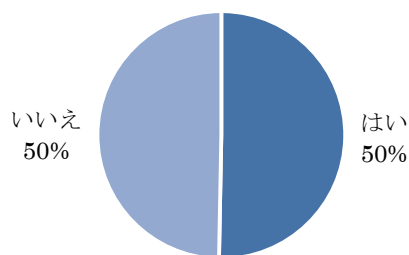


図4.9 日本就職希望

Q4.10 「はい」と回答した方は、就職活動のサポートに必要なことは何ですか。(複数回答)

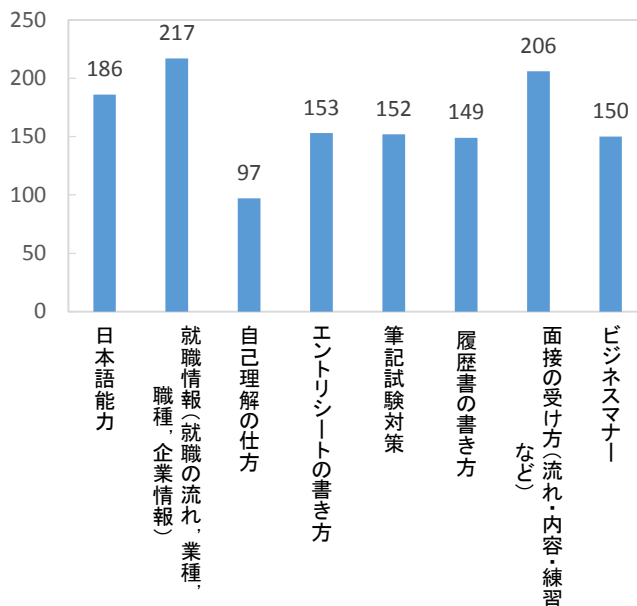


図4.10 就職活動サポートニーズ

## 5. 広島大学における学習・生活に関する満足度

Q5. 広島大学に関する以下の内容について、あてはまる回答の数字に○をしてください。

表1 広島大学における学習・生活に関する満足度(人/%)

	1. 全く そう 思わ ない	2. そう 思わ ない	3. どちら とも 言え ない	4. そう 思 う	5. とても そう 思 う	有効回 答数 (%)	平均値
指導教員は、研究について適切な助言をしてくれる	6	8	39	134	294	481	4.46
	1.2	1.7	8.1	27.9	61.1	100	
研究室の人たちは、いろいろな助言をしてくれる	5	17	94	185	178	479	4.07
	1	3.5	19.6	38.6	37.2	100	
所属事務の人たちは、いろいろと助けてくれる	2	10	55	209	212	488	4.27
	0.4	2	11.3	42.8	43.4	100	
カリキュラムは、わたしの希望した通りのものである	5	21	155	194	105	480	3.8
	1	4.4	32.3	40.4	21.9	100	
授業の内容は分かりやすい	8	37	148	208	84	485	3.66
	1.6	7.6	30.5	42.9	17.3	100	
広島大学 HP から必要な情報は収集しやすい	8	30	122	204	114	478	3.82
	1.7	6.3	25.5	42.7	23.8	100	
学生チューターは手助けをしてくれる	22	33	88	168	163	474	3.86
	4.6	7	18.6	35.4	34.4	100	

広島大学での私の研究はうまくいっている	7	16	122	212	130	487	3.91
	1.4	3.3	25.1	43.5	26.7	100	
総合的に判断して、大学の授業や研究に満足している	3	17	72	218	177	487	4.13
	0.6	3.5	14.8	44.8	36.3	100	
総合的に判断して、日常生活に満足している	2	17	98	230	145	492	4.02
	0.4	3.5	19.9	46.7	29.5	100	

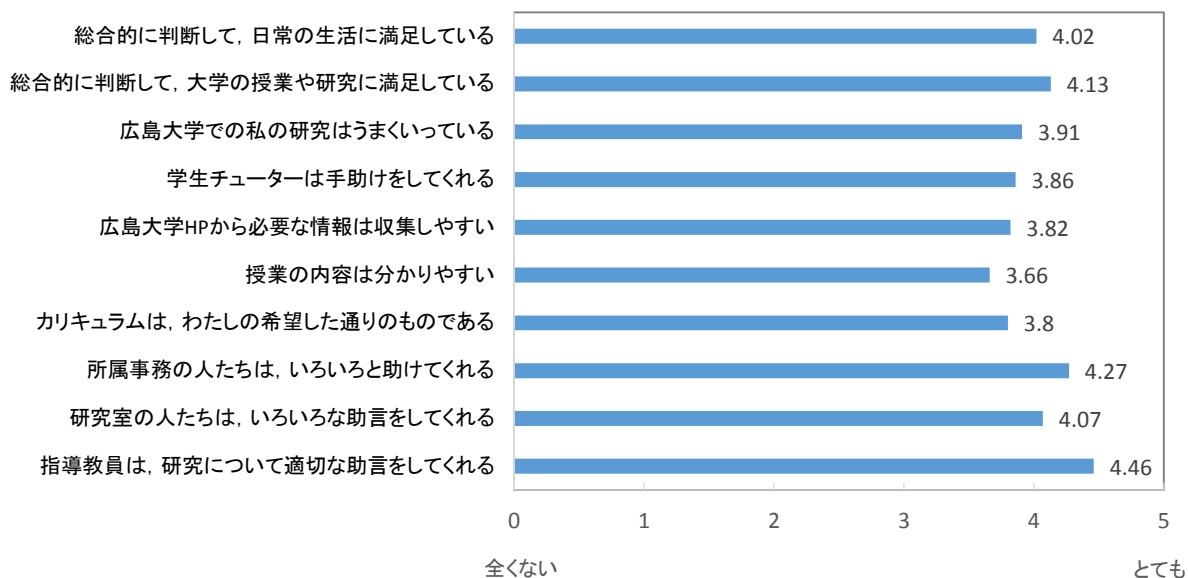


図5 留学生満足度平均

### <自由記述>

主な内容を以下にまとめる。

- ・奨学金や授業料免除が少ない不満、合否基準の不透明さについて
- ・アルバイトや日本での就職について
- ・研究場所の不足、図書館の休日開館を要望
- ・教員とのミスマッチについて
- ・英語の教育課程の開設を要望
- ・日本語学習環境の不足
- ・教職員とのコミュニケーション不足、地域との交流等授業以外の交流について
- ・修学、経済的援助、健康等の相談窓口について
- ・(研究生) 大学院合格後の半年間の費用について